

成田空港の更なる機能強化に関する住民説明会での主な意見・要望（1） ＜平成28年9月から平成29年6月まで＞

●騒音対策区域に関すること

- ◆ 防止特別地区、防止地区、第一種区域、隣接区域の線引きにあたっては、集落が分断することがないように配慮すべき。
- ◆ 現在の集落分断を解消してもらいたい。
- ◆ 住民の意見を聞いて騒音コンターを作成してほしい。
- ◆ 内陸空港の事情を考慮して、防止特別地区等の拡大が必要である。
- ◆ 移転できずに残された人の問題も真剣に考えてもらいたい。
- ◆ 騒音や用益制限による資産価値の低下を懸念している。
- ◆ コンターが縮小している地区においても、現在の対策区域は維持してもらいたい。

●夜間飛行制限の緩和に関すること

- ◆ 機能強化の必要性だけを重視して、24時間化されることを懸念する。
- ◆ 騒音から解放される時間が4時間しかなくなり、睡眠時間が不足する。
- ◆ 夜間飛行制限の緩和内容を再検討してもらいたい。
- ◆ 夜間飛行制限の緩和に反対。
- ◆ これ以上の弾力的運用は避けてもらいたい。

●航空機からの落下物に関すること

- ◆ 落下物対策は、命にかかわる問題であり最重点課題であるので、スピード感を持って対策を検討してもらいたい。
- ◆ 落下物対策としての移転制度をつくってもらいたい。

●航空機による騒音や飛行コースに関すること

- ◆ 航空機騒音は基準値を満たしているとのことだが、夜間の単発騒音では大きく上回っている。
- ◆ 睡眠妨害を考慮したうえで、実態に即した基準値に見直してほしい。
- ◆ 飛行コースが守られていないように感じている。

●防音工事に関すること

- ◆ 抜本的な防音対策の見直しが必要。
- ◆ 騒音地域住民の多くが農家住宅であることから、農家住宅に対応した対策を検討してもらいたい。
- ◆ 内窓設置を防止地区内だけとすることには納得できない。
- ◆ 寝室以外にも内窓の設置を検討してもらいたい。
- ◆ 風呂・脱衣所等のサッシを防音工事の補助対象としてほしい。

●騒音地域における地域振興策に関すること

- ◆ 空港により市街地は豊かになったが、騒音地域は何も変わらず、二極化している。
- ◆ 交通の利便性などを改善してもらいたい。
- ◆ 騒音地域は人口が減少し、集落の維持が難しい。集落が維持できるよう地域振興に力を入れてもらいたい。

●その他

- ◆ 四者協議会は、騒音地域の主張を酌んでいないのではないか。
- ◆ 機能強化については、速やかな情報提供をお願いします。
- ◆ 希望者が移転できる法律をつくってもらいたい。
- ◆ 移転跡地の草刈りなどについて、地元住民が管理組合などを設置して管理委託を受けられるようなシステムをつくってもらいたい。
- ◆ 健康影響について調査してもらいたい。
- ◆ 騒音地域への補助制度を一層充実してもらいたい。
- ◆ 空港北側に出入り口を整備してもらいたい。
- ◆ 成田空港周辺の道路を整備してもらいたい。